



ACI 向け Cisco ASA デバイス パッケージ ソフトウェア バージョン 1.2(6) リリースノート

公開日:2016 年 6 月 30 日

改訂:2016 年 6 月 30 日

このドキュメントには、ACI 向け Cisco ASA デバイス パッケージ ソフトウェア バージョン 1.2(6) のリリース情報が含まれており、次のセクションで構成されています。

- サポートされている ASA モデル(2 ページ)
- サポートされる APIC バージョン(2 ページ)
- 1.2(6) の新機能(2 ページ)
- 特記事項(3 ページ)
- APIC 1.2(x) および ASA 9.3(1)(3 ページ)
- サービスアプライアンスの BGP ピアリングの設定が不完全な場合にポリシーマネージャがロックアップする(3 ページ)
- ソフトウェアのインストール(4 ページ)
- Cisco.com からソフトウェアをダウンロードする(4 ページ)
- バグ検索(4 ページ)
- ASA デバイスパッケージバージョン 1.2(6) で解決された不具合(4 ページ)
- ASA デバイス パッケージ バージョン 1.2(6) で解決された拡張要求(5 ページ)
- 関連資料(5 ページ)
- マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート(6 ページ)

サポートされている ASA モデル

次の表に、サポートされる ASA モデルを示します。

ASA モデル	ソフトウェアバージョン
ASA 5500-X(5512 ~ 5555)	ASA ソフトウェアバージョン 8.4(x) 以降
ASA 5585-X(SSP 10 ~ SSP 60)	
Firepower 9300	ASA ソフトウェアバージョン 9.6(1) 以降
Firepower 41xx	
ASAv	Cisco ASA 互換性マトリックス の「ASA と ASDM の互換性」セクションを参照してください。

サポートされる APIC バージョン

Cisco ASA デバイス パッケージのソフトウェアは、同梱された APIC バージョンだけをサポートしています。

1.2(6) の新機能

このリリースには、次のサポートが含まれています。

- 新しいコマンドが使用できるようになり、拡張、EtherType、IPv6、標準規格、Webtype などのあらゆるアクセリストのエントリに備考やコメントを追加できるようになりました。このコマンドは、ASA で使用される **access-list list_name remark text** コマンドと同じ方法で使用されます。このコマンドの詳細については、[Cisco ASA 5500 Series Command Reference](#) を参照してください。
- サービスコネクタでアプリケーション検査を実行できることに加えて、**policy-map** コマンドを使用してグローバルなアプリケーション検査を実行できるようになりました。このコマンドは、ASA における工場出荷時のグローバルポリシー設定と同じ方法で使用されます。詳細については、『[Cisco Security Appliance Command Line Configuration Guide](#)』を参照してください。
- 次のいずれかを実行できる新しいコマンドが使用できるようになりました。
 - 同じセキュリティレベルのインターフェイス間(inter-interface)の通信を許可します
 - トラフィックが同じインターフェイスに出入りすることを許可します(インターフェイス内)

このコマンドは、ASA で使用される **same-security-traffic** コマンドと同じ方法で使用されます。このコマンドの詳細については、[Cisco ASA 5500 Series Command Reference](#) を参照してください。

- 新しいコマンドが使用できるようになりました。AccessControlEntry で有効な期間を指定できるようになりました。このコマンドは、ASA における **time-range** コマンドと同じ方法で使用されます。このコマンドの詳細については、[Cisco ASA 5500 Series Command Reference](#) を参照してください。

特記事項

次の重要な特記事項に注意してください。

- ASA はマルチコンテキストモードをサポートしません。
- ダイナミック EPG を使用した ACE には、ASA イメージ 9.3.2 以降が必要です。

APIC 1.2(x) および ASA 9.3(1)

デフォルトの SSL 設定がある ASA 9.3(1) を使用した APIC 1.2(x) を実行している場合は、次のエラーが表示されます。

重大なスクリプトエラー:接続エラー:[SSL:SSLV3_ALERT_HANDSHAKE_FAILURE] ss1v3 アラート ハンドシェイク失敗 (_ssl.c:581)

回避策は、ASA で **ssl encryption aes128-sha1** を設定するか、ASA をバージョン 9.3(2) 以降にアップグレードすることです。

サービスアプライアンスの BGP ピアリングの設定が不完全な場合にポリシーマネージャがロックアップする

症状 サービスアプライアンスの BGP ピアリングに使用される l3Out の設定が不完全な場合、ポリシーマネージャがクラッシュする(CSCuw03425)。

条件 サービスアプライアンスの BGP ピアリングに使用される l3Out に l3extRsNodeL3OutAtt がありません。

回避策 l3Out に l3extRsNodeL3OutAtt が含まれていることを確認します。この問題は今後のリリースで修正されます。

次に、l3extRsNodeL3OutAtt を含む BGP XML の例を示します。

```
<polUni>
  <fvTenant name="tenant1">
    <l3extOut name="StaticExternal">
      <l3extLNodeP name="bLeaf-101">
        <l3extRsNodeL3OutAtt tDn="topology/pod-1/node-101" rtrId="190.0.0.11">
          <ipRouteP ip="50.50.0.0/24">
            <ipNexthopP nhAddr="40.40.40.102/32"/>
          </ipRouteP>
        </l3extRsNodeL3OutAtt>
        <l3extLIfP name="portIf">
          <l3extRsPathL3OutAtt tDn="topology/pod-1/paths-101/pathep-[eth1/15]" ifInstT="ext-svi" encap="vlan-3843" addr="40.40.40.100/28" mtu="1500"/>
        </l3extLIfP>
      </l3extLNodeP>
      <l3extInstP name="ExtInstP">
        <l3extSubnet ip="50.50.0.0/24" scope="export-rtctrl"/>
      </l3extInstP>
      <l3extRsEctx tnFvCtxName="tenant1ctx1"/>
    </l3extOut>
  </fvTenant>
</polUni>
```

ソフトウェアのインストール

アップグレードする場合、APIC リリースに CSCub4353 に対する修正が含まれている場合は、以前のパッケージを削除する必要はありません。それ以外の場合、古いバージョンから新しいバージョンにアップグレードするには、最初に古いバージョンを APIC から削除してから、新しいバージョンをインストールする必要があります。

ASA デバイスパッケージソフトウェアをインストールする場合の手順については、『*Cisco ASA Quick Start Guide for APIC Integration, 1.2*』を参照してください。

Cisco.com からソフトウェアをダウンロードする

Cisco.com にログインしている場合は、次の Web サイトから ASA デバイスパッケージイメージを取得できます。

<https://software.cisco.com/download/release.html?mdfid=283123066&flowid=22661&softwareid=286279676>

バグ検索

Cisco.com に登録しているユーザーの場合は、次の Web サイトのバグ検索を使用して、それぞれの不具合の詳細を確認してください。

<https://tools.cisco.com/bugsearch>

ASA デバイスパッケージバージョン 1.2(6) で解決された不具合



(注) ASA デバイスパッケージバージョンに関して未解決の不具合はありません。

次の表に、ASA デバイスパッケージバージョン 1.2(6) の解決済みの不具合を示します。

不具合	説明
CSCuz95079	グローバルインスペクション: グローバルポリシーでは、H.232 H.225 は H.323 H.225 に修正する必要がある
CSCuz72495	asa-dp: サービスグラフの作成時に ASA のインターフェイスの namif が欠落している
CSCuy22138	ASADP CTS: 関連付けられたテナントを削除しても、ISE 用の AAA サーバーが削除されない
CSCuz42674	asa-dp: serviceAudit が例外をスローする
CSCuz50992	ACI ASA DP: L4-L7 パラメータとして 'standby IP' が必要
CSCuz56618	asa-dp: serviceAudit が NAT 用に誤った CLI を生成する
CSCuz61071	NAT で同じ順序番号を使用すると、NAT が削除されたり再設定されたりする可能性がある

不具合	説明
CSCuy03953	L4-L7 グラフテンプレートの具体的なインターフェイスで IPV4 アドレスが検証されません。
CSCuz07266	ASA を 9.6.1 にアップグレードすると、TrustSec の role-based sgt-map コマンドが失敗する
CSCuz08407	AVS BZMR2: デバイスの削除後に ASA VM がアクセスできなくなった

ASA デバイス パッケージ バージョン 1.2(6) で解決された拡張要求

次の表に、ASA デバイス パッケージ バージョン 1.2(6) で解決された拡張要求が含まれています。

要求/不具合	説明
CSCux98269	ASA からの access-list コマンドにおける remark キーワードのサポート。
CSCux98266	サービスコネクタでのグローバルインスペクションのサポート、
CSCuy45554	ASA の time-range コマンドのサポート。
該当なし	ASA の same-security-traffic コマンドのサポート。

関連資料

Cisco ASA の詳細については、『[Navigating the Cisco ASA Series Documentation](#)』を参照してください。

Cisco APIC の詳細については、APIC ドキュメントの Web サイトと [Cisco Application Policy Infrastructure Controller \(APIC\)](#) のセキュリティソリューションセントリック インフラストラクチャのセキュリティソリューションの Web サイトを参照してください。

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『What's New in Cisco Product Documentation』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『What's New in Cisco Product Documentation』では、シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧を、RSS フィードとして購読できます。また、リーダー アプリケーションを使用して、コンテンツをデスクトップに配信することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。

リンク情報につきましては、日本語版掲載時点と、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

このマニュアルは、「[関連資料](#)」の項に記載されているマニュアルと併せてご利用ください。

Cisco および Cisco ロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は、www.cisco.com/go/trademarks でご確認いただけます。記載されている第三者機関の商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」または「partner」という用語の使用はシスコと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

©2016 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.